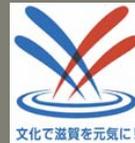


# 文化・経済フォーラム滋賀



## News Letter

第1号 (2017年6月)

### 第7回総会・講演会・交流会

2017年2月12日(日) びわ湖大津プリンスホテル

2月12日(日)、びわ湖大津プリンスホテルにおいて、第7回総会を開催しました。はじめに、津田和明氏から「文化はムダでない」と題した基調講演を賜り、113人が興味深いお話を耳を傾けました。その後、「2016文化で滋賀を元気に!賞」受賞者6団体の表彰式と活動紹介を行いました。

総会には79人が出席し、木村至宏代表幹事の挨拶後、池永肇恵副知事、野田藤雄県議会議長から祝辞を賜りました。任期満了に伴い代表幹事に石丸正運氏が就任するなど、役員改選等の議案を審議いただきました。「文化で滋賀を元気に!する提言発表」では、「世界遺産、無形文化遺産、世界農業遺産の登録等への取組みを～地域の文化遺産を見直し、グローバルな評価へ～」とする提言を示しました。

また、交流会では、川端達夫衆議院副議長にご挨拶と乾杯のご発声を賜り、参加者75人は様々な分野で活躍する方々と親睦を深めました。



#### 基調講演 「文化はムダでない」

講師 津田 和明 氏

サントリー株式会社元副社長  
独立行政法人日本芸術文化振興会前理事長

大阪大学法学部卒。1957年株式会社寿屋(現サントリー株式会社)に入社、その後、ロンドン支店長、取締役を経て、1995年取締役副社長、2004年顧問となる。また、文化庁文化審議会委員や関西経済同友会代表幹事、(公財)大阪観光コンベンション協会会長などを歴任。現在、大阪大学ベンチャーキャピタル株式会社社外取締役、(公財)びわ湖ホール評議員。

なぜ、国が文化支援を行うか。国の文化は、国を救うことがあります。元文化庁長官の河合隼雄先生が「文化力」という言葉を広められた。では、文化力とは何でしょうか。それを認める相手ができた時に力を発揮するのです。「パリは燃えているか」という映画があった。パリがドイツに占領されていた時の話です。ドイツ軍はパリの街並み、このような素晴らしい人類の遺産を燃やしていいの、と焼かずに撤退した。パリの文化が街を守ったのです。日本でも同じことがありました。なぜ、京都や奈良は爆撃されなかったのか。世界の遺産だと認める人がアメリカにいたからです。評価する人がいたから守られた。そういう人がいなかったらどうなるか。パーミヤンの遺跡はタリバンが爆破してしまいました。

日本人は本当に行儀がいい。サッカーで話題になりましたが日本人サポーターは会場を清掃して帰る。こんな民族はないですね。明治維新の頃、馬が駕籠しかないような日本がどうして列強の侵略を免れたのか。日本人の識字率は世界一だった。これは寺子屋で字を習っていたからです。そして、その手本としていたのが行儀作法や道徳だったのです。フランスの駐日大使をしていたポール・クローデルがこんなことを言ってくれています。「日本は貧しい。しかし高貴だ。世界でどうしても残ってほしい民族があるとするならば、日本人だ。」これは人間を誉めているのです。こういう人の維持をするには、文化で日本の評価を高めておくことが非常に必要です。人間にとって衣食住は最低必要です。だけれども文化がなければ人間らしい生き方とは言えないのです。悩んだり行き詰った時に、音楽を聞いたり芝居をすることによって人間というのは一つの壁を超えることができる。文化というのは心を満たすものです。パリのホールで文楽を上演したことがあります。大きな会場なので字幕が見えない。それでも観客は涙を流しているのです、すごいものだと思います。

#### 滋賀にとっての文化

滋賀県の地域イメージを高めるためには、文化を強くしなければなりません。滋賀県は何と美しいところでしょうか。びわ湖ホールのホワイエから見える琵琶湖のかたちというのは恐らく世界でも五指に入ります。東京の知り合いに紅葉時期、湖東三山へ行くよう勧めました。日本の紅葉は世界一美しいです。その知り合いが感激して電話をくれました。何故、東京で知られていないのか、と言っていました。そういう素材は滋賀にいっぱいあります。観光資源というのはあるだけではダメで、少しお金をかけないといけないです。湖北には観山の焼き討ちを免れた仏像が沢山ありますが、そうした仏像を訪ねる旅というのもロマンがあっていいですね。

文化と経済で振興、という使命があるのであれば組織的に動いていくことが必要だと思います。特に滋賀県は近江商人発祥の地です。近江商人の功績は大変なものです。近江商人の働きによって、当時日本中の情報が滋賀県に集まってきたはずなんです。そういう遺伝子を活かして地域の組織づくりをしただけいいと思います。

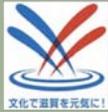
津田先生から  
ご提案



一番早い町(街)おこしはNHK大河ドラマの場面になることです。何かないかと考えていましたが、水上勉さんの「湖笛」がいいと思いました。見事に大津から長浜、堅田すべて舞台になっています。主役が京極高次です。琵琶湖一周の小説で魅力があるのは「湖笛」です。地域の方が署名を集めて一生懸命NHKに働きかけているところもあります。そういうことも少し考えの中に入れていただければと思います。

## 文化で滋賀を元気に！賞

文化・経済フォーラム滋賀では、文化で滋賀を明るく元気にし、活力あふれる地域社会の実現に貢献している団体または個人に対して感謝と今後の活動を期待し、2011年から「文化で滋賀を元気に！賞」を設け表彰しています。文化・経済フォーラム滋賀の主要事業の一つです。



文化で滋賀を元気に！

### 2017 文化で滋賀を元 気に！賞 の募集

文化・経済フォーラム滋賀は、文化で“まち”を明るく元気にしている人々を応援します。

この賞は、地域を元気にする活動に取り組んでいる皆さんを対象としています。文化の力で活力あふれる地域社会の実現に貢献している団体または個人を、広く県内から推薦（自薦・他薦）してください。過去に推薦された団体または個人も、応募することができます（受賞者を除く）。

募集開始は8月の予定です。

■表彰式  
2018年2月18日(日)  
「文化・経済フォーラム滋賀」  
総会

■表彰  
推薦された団体または個人の中から、「文化で滋賀を元気に！賞」選考委員会が受賞者を決定します。

◆文化で滋賀を元気に賞！大賞(1名)

◆文化で滋賀を元気に賞！各賞(若干名)

※各賞の名称は、推薦者からのご提案に基づき決定します。



【2016年 受賞団体(者)】(応募件数:30)

★大賞<街中(まちなか)丸ごとアート文化賞>  
長浜芸術版楽市楽座運営委員会(長浜市)

各賞

<彦根の楽しさ発掘文化賞> 特定非営利活動法人ひこねデザインフォーラム(彦根市)

<寄席で笑って元気に文化賞> 笑ってもっと元気を出そう会(大津市)

<おひなさまで町おこし文化賞> 日野ひなまつり紀行実行委員会(日野町)

<絶滅危惧種ハリヨを残そう文化賞> 旭化成株式会社(守山市)

<能楽を近江に伝える文化賞> 滋賀能楽文化を育てる会(東近江市)



2016年大賞

【2015年 受賞団体(者)】(応募件数:22)

★大賞<青春メッセージ文化賞>

石坂線21駅の顔づくりグループ 電車と青春21文字プロジェクト(大津市)

各賞

<我が町描き続けて文化賞> 八美会(はちびかい)(近江八幡市)

<町衆歌舞伎文化賞> 長濱ゆう歌舞伎座(長浜市)

<親子劇場文化賞> 大津おやこ劇場(大津市)

<伊吹まちおこし文化賞> 伊吹山文化資料館友の会(米原市)

<映画で地域活性化文化賞> 彦根を映画で盛り上げる会(彦根市)



2015年大賞

【2014年 受賞団体(者)】(応募件数:34)

★大賞<絵本でまちおこし文化賞>

特定非営利法人絵本による街づくりの会(高島市)

各賞

<JAZZと一緒にまち歩き文化賞> 大津ジャズフェスティバル実行委員会(大津市)

<滋賀から世界へ挑戦文化賞> 寺村 邦子 氏(彦根市)

<演劇でまちづくり文化賞> 栗東演劇祭実行委員会(栗東市)

<地域に学ぶ文化賞> 成安造形大学地域連携推進センター(大津市)

<絆の灯火文化賞> 「石塔町ペットボトルイルミネーション」東近江市石塔町・明るい町づくり(阿育の子育成会)(東近江市)



2014年大賞

【2013年 受賞団体(者)】(応募件数:33)

★大賞<びわこアート文化賞>

NPO法人エナジーフィールド(近江八幡市)

各賞

<ヒトやコをつなぐ文化賞> 新江州(株)循環型社会システム研究所M・O・H通信(長浜市)

<まちおこしJAZZ文化賞> びわこJAZZフェスティバルin東近江実行委員会(東近江市)

<ふるさと輝き文化賞> NPO法人甲賀文化輝き(甲賀市)

<石橋調査文化賞> 森野 秀三 氏(甲賀市)

<伊吹へ、きんせ文化賞> 伊吹の天窓実行委員会(米原市)



2013年大賞

【2012年 受賞団体(者)】(応募件数:44)

★大賞<農家アート文化賞>

コネファ・サムライプロジェクト(長浜市・米原市)

各賞

<地域の再発見文化賞> 長浜み～な編集室(長浜市)

<先人の心を受け継ぐ文化賞> 高月西野自治会(長浜市)

<能舞台復活文化賞> 能舞台を活かす会(東近江市)

<地域音楽振興文化賞> 辰巳 直弘 氏(大津市)

<藤が地域をつなぐ文化賞> 藤古木保存会(草津市)



2012年大賞

【2011年 受賞団体(者)】(応募件数:88)

★大賞<まちおこし文化賞>

余呉べんがら座主宰 横山 義淳 氏(長浜市)

各賞

<図書館100年の灯火文化賞> 江北図書館 館長 富田光彦 氏(長浜市)

<キャラクター文化賞> アミンチュプロジェクト びわ湖放送&藤井組(大津市)

<ふれあい景観文化賞> ふれあい鯉のぼり祭「真野」実行委員会(大津市)

<ラッピングトレイン文化賞> 京阪電気鉄道株式会社大津鉄道部(大津市)

<地域映画文化賞> ひょうたんから KO-MA(近江八幡市)



2011年大賞

情報発信部会で会員皆様のアイデアを募集

文化・経済フォーラム滋賀からインパクトのある情報を発信する方策について検討するため、新たに情報発信部会(部会長:井上 建夫幹事)を設置することとなりました。

今年度事業について文化・経済フォーラム滋賀だからこそ提案できるアイデアを、会員の皆様といっしょに議論したいと考えておりますので、参加いただける方は、事務局までご連絡ください。多くの皆様のご参加をお待ちしております。

日時: 6月28日(水)18:00~20:00

場所: 旧大津公会堂 会議室  
大津市浜大津1丁目4-1  
電話 077-522-8220

申込: 文化・経済フォーラム滋賀事務局  
bunka-keizai@biwako-arts.or.jp



ひととまちとアートが出会う〜 文化経済アートステージ2017

会員の甲賀高分子株式会社様のご協力により、(公財)びわ湖芸術文化財団と共催で、下記のとおりコンサートを開催します。多くのご来場お待ちしております。

日時: 10月7日(土)14:00~15:30  
場所: 甲賀高分子株式会社5階会議室  
(滋賀県湖南市石部北1-4-26)  
出演:

入場料: 無料(要整理券)  
整理券設置先: 甲賀高分子株式会社、石部文化ホール、甲西文化ホール 他  
※整理券は8月1日(火)から設置



フルート 井伊 亮子(いい あきこ)氏

愛知県立芸術大学音楽学部卒業。フルートを永長次郎、白石孝子、村田四郎、トレバー・ワイの各氏に、邦楽囃子(笛)を人間国宝、寶山左衛門に師事。ブルガリア国立ソフィアフィルハーモニー管弦楽団、アンサンブル神戸等と共演。1999年、菅野茂作曲「長唄カルテット」(WVE-161)の初演に際し篠笛を担当。同時にCD録音に参加。2003年、NHK大河ドラマ『武蔵』にて笛を指導。2011年、京都芸術祭京都府知事賞受賞。エコーメモリアル・チェンバーオーケストラ副代表。

ヴァイオリン 足木 かよ(あしき かよ)氏

滋賀県立石山高校音楽科、愛知県立芸術大学を経て、同大学院音楽研究科博士前期課程修了。2007年アジアフィルハーモニックオーケストラアカデミー、2009年パイロイト国際青年芸術祭を受賞。第12回滋賀県新人演奏会にて管弦打部門優秀賞を受賞。これまでに福田みどり、岡田英治、白石禮子の各氏に師事。現在、リュイールンヤンクフルテット、エコーメモリアルチェンバーオーケストラなどで演奏活動をする傍ら、後進の指導にもあたっている。



チェンバロ 光永 秀子(みつなが ひでこ)氏



京都市立芸術大学音楽学部卒業。父・武夫(元京都市交響楽団ファゴット奏者)と光永三姉妹の「光永ファミリーコンサート」等定着した企画の他に、オーケストラ・ムジカ・チェレステやバロックアンサンブルのマネージャーとしても活躍。チェンバロでも活動しており、10年かけて、フランスバロックを代表する作曲家F. クーブランのクラヴサン(チェンバロ)組曲全曲演奏を完結。チェンバロを菅哲也、中野振一郎、ピアノを井上美智子、村上久仁子、椿久美子、田陽靖子、古川五巳の各氏に師事。

上記出演者のほか、甲賀高分子株式会社社員による演奏もごさいます。

会員事業ご案内 \*詳しくは配布のチラシをご覧ください

彦根城築城410年記念演奏会 **イル・デーヴ with OEK** 指揮: 垣内 悠希  
オーケストラ・アンサンブル金沢

日時: 9月9日(土) 開場14:15 開演15:00  
会場: ひこね市文化プラザ グランドホール  
(彦根市野瀬町187-4 電話 0749-26-8601)  
出演: IL DEUV (イル・デーヴ)、垣内 悠希  
オーケストラ・アンサンブル金沢(OEK)  
彦根児童合唱団、いなえ少年少女合唱団  
主催: NPO法人ひこね文化デザインフォーラム  
(公財)石川県音楽文化振興事業団

会員プレゼント  
1A席を2組4名様にご希望の会員様の中から、抽選でプレゼントいたします。  
お申し込みは、事務局(bunka-keizai@biwako-arts.or.jp)まで。

スケジュール

7月

10日(月) 企画推進会議  
13日(木) 幹事会(役員会)

8月

文化で滋賀を元気に! 賞2017 募集開始(応募締切10月31日)

9月

2日(土) 「第32回国民文化祭・なら2017 開会式・オープニングフェスティバル」視察(予定)  
11日(月) 企画推進会議  
14日(木) 幹事会(役員会)

10月

7日(土) 文化経済アートステージ(湖南市)(日程調整中) 企画推進会議  
12日(木) 幹事会(役員会)  
31日(火) 文化で滋賀を元気に! 賞2017 応募締切

11月

6日(月) 企画推進会議  
9日(木) 幹事会(役員会)

イル・デーヴ with OEK 指揮: 垣内 悠希  
2017.9.9 開場14:15 開演15:00  
ひこね市文化プラザ グランドホール  
彦根市野瀬町187-4 TEL 0749-26-8601  
プログラム: 「サンタルチア」「見上げてごらん夜の星を」大河ドラマテーマ音楽「恋な城主 面影」他

## 連載 レポート近江屋考

## 「きのう、きょう、あす」①

歩くブログ記者 岸野 洋

京都新聞社友  
前・(公財)滋賀県文化振興事業団理事長

本を読んでいると、おやっと思っ  
た出会いがある。大晦日、NHK紅白歌  
合戦で指揮棒を振り続けた、あの国民  
の歌手、藤山一郎さんのお母さんは、  
近江屋の女将さんだった。野球評論、  
大リーグ通などで知られる池井優さん  
は著書「藤山一郎とその時代」の  
中で、そのことを書いている。藤山さん  
と池井さんは、出身が慶応がらみの、

そんなよしみからか、82歳で亡くなった藤山さんの生涯を綴った。今から20年前の1997年5月、新潮社から出版した著書＝写真＝。ちなみに外交史を専門とする池井さんは慶応大名誉教授で、今年82歳である。

「青山脈」「長崎の鐘」など、数多くのヒット曲がある藤山さんは国民栄誉賞に輝き、平成5年夏、82歳で亡くなった。東京生まれ、5人兄妹の末っ子、本名は増永丈夫。お母さんの名前はゆうさん。池井さんの著書によると、ゆうさんは、京都の近江屋（竹内家）から7歳のおり、東京の出店として日本橋長谷川町で洋反物などを扱う近江屋、別名近房

「近江屋」という屋号を持つ近江屋さん、全国にどれくらい存在するのだろうか。文化・経済フォーラム滋賀の年間企画で、成安造形大学近江学研究所の加藤賢治さん、石川亮さんが平成23年以来、年末に一年の研究結果をまとめてフォーラムを開催してきた。坂本龍馬暗殺の京都近江屋の謎、居酒屋近江屋の経営者インタビュー、なぜ金沢で近江町市場なのか～など、色んな切り口で計6回開催、昨年末で一つの区切りをつけた。それでも、何時の日か、全国の近江屋さんが集う「近江屋サミット」開催、そんな夢はまだ残っている。

レポート近江屋考は、夢を追いかけて近江屋さんの過去、現在、明日である。

(きんふさ)に養女で迎えられて育ち、元英語の中学教師だった番頭の増永信三郎さんと明治27年20歳で結婚、近江屋を継いだという。

著書によると、日本橋長谷川町の一角に近江屋という唐物問屋があった。……この近江屋の主人が竹内岩次郎、近江屋という屋号が示すとおり近江の出身である。江戸時代末期から明治にかけて、この地域に進出してきたのは伊勢商人に続いて近江商人であった。近江商人は早くから京都、大阪に拠点をつくり、江戸に進出するようになったが、それまでは天秤棒一本肩にかけての行商から始まった…など、その流れがよくわかる。京都の竹内の先祖は元神崎郡能登川町で、この行商が始まりーとも書く。

滋賀県は今年度、念願のブランドカアップへ、東京日本橋に本格的なアンテナショップを設ける。歴史を紐解くと、池井著書にあるとおり、日本橋はかつて近江商人の町である。いまま布団の西川、高島屋、柳井ビル…など近江始まりの店が多い。藤山さん生家の長谷川町はどのあたりなのか。近江屋の今昔、藤山さんのお母さんにご縁を思いながら、第1回のレポートとした。

会員の皆様からの投稿を掲載いたします。ご希望の方は、事務局までご連絡ください。

- 顧問 三日月 大造(滋賀県知事) 大道 良夫(滋賀経済団体連合会会長)
- 相談役 木村 至宏(成安造形大学附属近江学研究所顧問)
- 新役員 就任 (代表幹事1名、副代表幹事3名、幹事13名、監事2名)  
平成29年2月12日の総会での役員改選より。ただし、福永幹事は平成29年5月11日就任。
- |       |                             |                                |
|-------|-----------------------------|--------------------------------|
| 代表幹事  | 石丸 正運(美術史家)                 | 田中 健之(新木産業(株)代表取締役会長)          |
| 副代表幹事 | 川戸 良幸(琵琶湖汽船(株)代表取締役社長)      | 中村 順一(元・(公財)淡海文化振興財団理事長)       |
| 幹事    | 中村 順一(元・(公財)淡海文化振興財団理事長)    | 秋村 洋((株)ブラネットリビング代表取締役)        |
|       | 井上 昌一((株)井上 代表取締役)          | 東 清信(びわ湖放送(株)代表取締役社長)          |
|       | 加藤 賢治(成安造形大学准教授)            | 井上 建夫(劇場プロデューサー)               |
|       | 十倉 良一(京都新聞社論説委員)            | 黒田 秀子(NPO法人ひこね文化デザインフォーラム事務局長) |
|       | 福永 忠克(滋賀県県民生活部長)            | 馬場 章(元・滋賀県立大学副理事長)             |
|       | 村田 省三(大津商工会議所専務理事)          | 南 千勢子(ピアニスト)                   |
|       | 竹村 憲男(文化・経済フォーラム滋賀事務局長)     | 山中 隆((公財)びわ湖芸術文化財団理事長)         |
| 監事    | 饗場 貴子(元・大津青年会議所理事長)         | 中川 浩((株)しがぎん経済文化センター取締役社長)     |
|       | *五十音順、敬称略 任期は平成31年の総会の終結時まで |                                |
- 企画推進員 就任 9名 ※今年度新たに設けられました。事業の企画調整を担当します。
- |                                       |                                |
|---------------------------------------|--------------------------------|
| 秋村 洋((株)ブラネットリビング代表取締役)               | 石川 亮(成安造形大学助教)                 |
| 井上 昌一((株)井上 代表取締役)                    | 井上 建夫(劇場プロデューサー)               |
| 加藤 賢治(成安造形大学准教授)                      | 黒田 秀子(NPO法人ひこね文化デザインフォーラム事務局長) |
| 田中 正彦((株)しがぎん経済文化センター文化事業部チーフプロデューサー) | 中村 順一(元・(公財)淡海文化振興財団理事長)       |
| 十倉 良一(京都新聞社論説委員)                      |                                |
| *五十音順、敬称略 任期は平成30年の総会の終結時まで           |                                |

[発行・問合せ] 文化・経済フォーラム滋賀事務局

ニュースレターは年3回程度発行する予定です。

〒520-0806 滋賀県大津市打出浜15-1 滋賀県立劇場びわ湖ホール内

電話 077-523-7146 FAX 077-523-7147 bunka-keizai@biwako-arts.or.jp

Webサイト <http://www.biwako-arts.or.jp/rd/bunkakeizai/index.html>